

内部評価結果調書（施策評価 3）

施策名	自然環境の保全と創造
-----	------------

担当部局	農林水産環境部
担当部局長の氏名	緒方 和之

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針	(政策)	Ⅱ 環境循環都市									
計画項目	(施策)	① 自然環境の保全と創造									
施策目的	(何を対象に、どのようにすることを目的としているか)	海岸、森林、河川等の本市の豊かな自然環境を継承するため、市民協働による自然環境の保全や自然環境の保全意識の啓発を図るとともに、地球温暖化防止対策を推進するため、市民への意識啓発を図り、市民等が取り組む温暖化防止対策活動への支援を行う。市が実施する公共事業等において、環境負荷や再生に対する指針の策定を検討し取り組んでいく。また、市民の利便性を考えた新たな斎場の建設を進める。									
めざす目標	クリーン作戦を実施します	指標名	京丹後市一斉クリーン作戦の実施	総合計画策定時(H17)	0回/年間	H17	前期基本計画最終実績値	0回/年間	H21	2回/年間	H26
		京丹後市美しいふるさとづくり条例重点区域箇所	4ヵ所	H17	4ヵ所	H21	10ヵ所	H26			
※参考 後期基本計画 めざす目標	豊かな環境を継承します	指標名	京丹後市一斉クリーン作戦の実施	総合計画策定時(H17)	0回/年間	H17	後期基本計画策定時	0回/年間	H20	2回/年間	H26
		京丹後市美しいふるさとづくり条例重点区域箇所	4ヵ所	H17	4ヵ所	H20	10ヵ所	H26			
		自然観察会開催回数	新規	-	2回/年間	H20	5回/年間	H26			
		自然環境調査の実施	新規	-	0回/年間	H20	2回/年間	H26			

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業	H21決算額(千円)	内、一般財源(千円)	事務事業評価の結果				担当課
				目標達成度	効率性	事業内容の方向性	事業規模の方向性	
1 豊かな自然環境の継承	1 不法投棄対策事業	490	490	○	○	維持	縮小	市民
	不法投棄防止啓発を行うとともに、行為者の摘発と適切な撤去指導を実施							
	2 狂犬病予防・動物管理事業	542	379	▲	○	見直し	維持	市民
	狂犬病予防の注射を1,914頭に実施							
	3 堀川浄化施設維持管理事業	1,689	1,689	○	○	維持	維持	市民
	久美浜湾の港湾部から堀川へ流入する家庭雑排水を、取込管により浄化処理後、久美浜湾へ放流							
	4 公害対策事業	187	187	○	○	維持	維持	市民
	市民、自治区、京都府等の協力のもと、公害防止及び苦情案件に対応した。公害苦情件数 33件							
	5 環境保全活動事業	198	198	▲	○	維持	維持	環境
環境保護団体による美化活動及び意識啓発活動への支援								
6	ブナ林保全関連事業	37	37	○	○	見直し	拡大	環境
	ブナ林観察会を開催 28人参加							
7	スターウォッチング開催事業	12	12	○	○	維持	維持	環境
	星空観察会を開催 48人参加							
8	河川・湖沼等環境体験学習事業	27	27	○	○	維持	拡大	環境
	峰山・鱒留川でアウトドア体験(小学生30人参加)、弥栄・野間川で水環境学習会を開催							
9	環境基本計画推進事業	3	3	×	-	維持	維持	環境
	環境基本計画の策定が遅れ、推進委員会の設置ができなかった							
2 地球温暖化防止対策の推進	10 エコドライブ普及促進事業	0	0	×	-	維持	維持	環境
	講習会実施委託先との調整ができなかったため、未実施							
4 斎場の整備	11 竹野川斎場管理運営事業	9,791	2,937	○	○	維持	維持	衛生
	施設の維持管理、霊柩車の運行及び残骨灰の処理を実施							
	12 網野火葬場管理運営事業	5,904	3,087	○	○	維持	維持	市民
	施設の維持管理、霊柩車の運行及び残骨灰の処理を実施							
13	久美浜火葬場管理運営事業	4,822	2,891	○	○	維持	維持	市民
	施設の維持管理、霊柩車の運行及び残骨灰の処理を実施							

14	火葬場建設計画推進事業	458	458	○	○	維持	拡大	市民
	市民による火葬場整備検討委員会を設置し、意見書を市長に提出。新火葬場1箇所新設などの基本方針を策定							
計		24,160	12,395					



CHECK

評価	① 施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか		
	○	◎ 予定以上に進んでいる	理由 本市の豊かな自然環境を継承するため、市民協働による自然環境の保全や自然環境の保全意識の啓発を図ることができた。また、火葬場の効率的な運営を図り、新たな火葬場建設について基本方針を策定した。
		○ 予定どおり進んでいる	
		▲ 少し遅れている	
		× 大幅に遅れている	
	② 事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか		
	○	◎ 有効であった	理由 自然環境の継承に当たって、海岸や森林、河川等幅広い地域を対象として意識啓発等を実施するとともに、新たな火葬場建設に向けた検討を行っており有効であった。
		○ おおむね有効であった	
		▲ あまり有効でなかった	
		× 有効でなかった	
③ 事業の優先度 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、今後、優先度の高い事業と、優先度の低い事業は何か ※経常的及び任意的な事業の中から選出。(選出対象外:事務事業11、12、13)			
優先度 高い	事務事業		理由
	5	環境保全活動事業	京丹後市美しいふるさとづくり条例重点区域の拡充に向けて必要であるため。
	9	環境基本計画推進事業	環境基本計画に定めたプロジェクトや事業等の推進及び進捗管理を行うものであるため。
	14	火葬場建設計画推進事業	3つの火葬場は建設以降約30～45年が経過していることから早急に新火葬場の建設を進める必要があるため。
優先度 低い	事務事業		理由
	1	不法投棄対策事業	不法投棄された現地等の現状復帰のための事業であり、不法投棄防止の啓発活動を重点として環境保全活動事業と合わせて総合的な施策とすることも可能と考えるため。
	7	スターウォッチング開催事業	毎年参加申し込みが多い人気事業であるが、他の事業に比べると優先度が低いため。
	10	エコドライブ普及促進事業	これまでの機器貸与による啓発をH21から講習会方式に見直したため。



ACTION

改善	今後の施策展開をどうするか
	<p>今後も豊かな自然環境を継承するため、「京丹後市美しいふるさとづくり条例」による重点区域の指定を検討し、市民との協働による自然環境保全と管理を推進するとともに、環境保全意識の高揚を図るために環境学習等に取り組む。</p> <p>なお、「スターウォッチング開催事業」「ブナ林保全関連事業」「河川・湖沼等環境体験学習事業」といった環境学習等の事業については、市民の環境保全意識の啓発・高揚に重要であるが、社会教育施策の中でも同じような取り組みを行っているので、教育委員会と連携を図り整理を進めていく。</p> <p>また、地球温暖化対策を推進するために、市民への意識高揚のための情報提供を積極的に行い、地球温暖化対策地域協議会の取り組みを全市的に広げて活動を充実する。</p> <p>新たな火葬場の整備は、基本構想に基づき早急に推進する。</p>

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	03	02
細事業名		不法投棄対策事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	大江 裕

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 不法投棄厳禁の地域づくり 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 「排出者責任」の意識高揚と、不法投棄の減少。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民、事業者等を対象に、不法投棄防止啓発を行うとともに、行為者の摘発と適切な撤去指導を行った。また、京都府との協働事業による不法投棄防止ネットの設置、啓発用看板の作成を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) ・京都府との協働事業による不法投棄防止ネットの設置1ヶ所(久美浜町河梨)と、防止啓発標語の募集(久美浜小学校)。啓発用看板30枚作成。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	227	財源内訳	国庫支出金	
	12	193		府支出金	
	13	62		起債	
	14	8		分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	490	
事業費合計		490	合計		490

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 「排出者責任」の意識高揚、「違法行為である認識」、「地域の関心(監視)の向上」等、年々市民意識の中に定着しつつある。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 「排出者責任」の意識高揚、「違法行為である認識」、「地域の関心(監視)の向上」等、年々市民意識の中に定着しつつある。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 「排出者責任」の意識高揚、「違法行為である認識」、「地域の関心(監視)の向上」等、年々市民意識の中に定着しつつある。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 防止策としての予算投下である看板制作費以外の経費は、不法投棄物の撤去等原状復帰のための経費であるため、コスト削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 防止策としての予算投下である看板制作費以外の経費は、不法投棄物の撤去等原状復帰のための経費であるため、コスト削減は難しい。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 防止策としての予算投下である看板制作費以外の経費は、不法投棄物の撤去等原状復帰のための経費であるため、コスト削減は難しい。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 不法投棄撲滅の特効薬はなく、今後も啓発活動の推進と行為者の摘発及び適切指導といった地道な取り組みが中心となる。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由 不法投棄撲滅の特効薬はなく、今後も啓発活動の推進と行為者の摘発及び適切指導といった地道な取り組みが中心となる。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由 不法投棄撲滅の特効薬はなく、今後も啓発活動の推進と行為者の摘発及び適切指導といった地道な取り組みが中心となる。			
B 内容の見直し				
C 統廃合・休止・終了				
改善	事業規模の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>C 事業縮小</td> <td>理由 啓発等「防止策」を推進し、結果的に「不法投棄ゼロの地域」を実現することで事業は縮小したい。</td> </tr> </table>	C 事業縮小	理由 啓発等「防止策」を推進し、結果的に「不法投棄ゼロの地域」を実現することで事業は縮小したい。	
C 事業縮小	理由 啓発等「防止策」を推進し、結果的に「不法投棄ゼロの地域」を実現することで事業は縮小したい。			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	04	01
細事業名		狂犬病予防・動物管理事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	橋本琢人

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 犬の所有者を対象として狂犬病の予防を毎年一回実施する。 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 動物愛護についての理解を深め、所有者等が動物を適正に飼養することで共生する存在として市民に広く受け入れられる社会づくりを目標とする。 狂犬病予防対策強化(予防注射目標接種率100%)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 犬の所有者を対象として狂犬病予防注射を実施した。(2721頭中1914頭)
平成21年度事業の效果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 狂犬病防止のため定期的な予防接種を実施し、発生抑制を図った。(予防注射摂取率70%)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	9	11	国庫支出金	
	11	80	府支出金	動物管理指導費補助 163
	12	190	起債	
	13	261	分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	379
事業費合計		542	合計	542

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 狂犬病予防法に基づき狂犬病予防のため定期的な予防接種を実施したが、予防接種率70%にとどまる。飼い主の自覚と適正な飼い方について啓発を行った。公害防止、動物愛護のための看板を設置した。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 狂犬病予防法に基づき狂犬病予防のため定期的な予防接種を実施したが、予防接種率70%にとどまる。飼い主の自覚と適正な飼い方について啓発を行った。公害防止、動物愛護のための看板を設置した。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 狂犬病予防法に基づき狂犬病予防のため定期的な予防接種を実施したが、予防接種率70%にとどまる。飼い主の自覚と適正な飼い方について啓発を行った。公害防止、動物愛護のための看板を設置した。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 登録頭数の増加により、経費の削減は難しい。(H19年度登録数2644頭 H20年度登録数2683頭)また、予防接種率を上げるためには予防注射通知案内郵送は必要であり、経費の削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由 登録頭数の増加により、経費の削減は難しい。(H19年度登録数2644頭 H20年度登録数2683頭)また、予防接種率を上げるためには予防注射通知案内郵送は必要であり、経費の削減は難しい。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由 登録頭数の増加により、経費の削減は難しい。(H19年度登録数2644頭 H20年度登録数2683頭)また、予防接種率を上げるためには予防注射通知案内郵送は必要であり、経費の削減は難しい。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>現状維持</td> <td rowspan="3">理由 狂犬病予防法に基づき、狂犬病発生を抑制するため、犬の登録・狂犬病予防注射の実施率の向上と正しい飼養方法の普及は必要である。予防接種率を70%から90%台へ向上を図る。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	現状維持	理由 狂犬病予防法に基づき、狂犬病発生を抑制するため、犬の登録・狂犬病予防注射の実施率の向上と正しい飼養方法の普及は必要である。予防接種率を70%から90%台へ向上を図る。	B	内容の見直し	C
A	現状維持	理由 狂犬病予防法に基づき、狂犬病発生を抑制するため、犬の登録・狂犬病予防注射の実施率の向上と正しい飼養方法の普及は必要である。予防接種率を70%から90%台へ向上を図る。					
B	内容の見直し						
C	統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 今後も狂犬病発生時の抑制を図るため、予防接種率の向上に努める。また、人とペットが共生できる生活環境を構築していくため、今後も飼い主などを対象として自主的な動物管理マナーの向上を図っていく。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>事業縮小</td> </tr> </table>	A	事業拡大	理由 今後も狂犬病発生時の抑制を図るため、予防接種率の向上に努める。また、人とペットが共生できる生活環境を構築していくため、今後も飼い主などを対象として自主的な動物管理マナーの向上を図っていく。	B	現状維持	C
A	事業拡大	理由 今後も狂犬病発生時の抑制を図るため、予防接種率の向上に努める。また、人とペットが共生できる生活環境を構築していくため、今後も飼い主などを対象として自主的な動物管理マナーの向上を図っていく。					
B	現状維持						
C	事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	05	01
細事業名		堀川浄化施設維持管理事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	秦 祐康

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 現在、久美浜町の堀川流域約65世帯分の生活排水が、堀川を通じ直接久美浜湾へ流入している。このため、水質浄化及び水辺環境整備を図るとともに、市民に対する生活排水対策推進への意識向上を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 堀川流域約65世帯分の生活排水の水質浄化及び環境整備の実施。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 久美浜湾の港湾部から上流約180mの範囲について、堀川へ流入する家庭雑排水を、取込管により本管へ導入し、浄化処理後、久美浜湾へ放流する併せて、周辺の環境保全も実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 堀川流域約65世帯分の生活排水の水質浄化及び環境整備の実施を行い、堀川の水質浄化に努めた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	415	財源内訳	国庫支出金	
	13	1,274		府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	1,689
				合計	1,689
	事業費合計			1,689	合計

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由 施設の適正な維持管理及び、当該集落の久美浜町西本町区により年2回、水路の清掃等を行っており、今後も引き続き水質浄化の実施及び継続を図る。
	○ 進捗している(できている)	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由 施設の適正な維持管理及び水路の清掃等による水質浄化を実施したことで、生活排水対策の推進が図られたと考え、継続的に実施していく必要があるため、経費削減の余地はなかった。	
○ 削減の余地がなかった		
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	理由 下水道の整備により、周辺世帯が100%下水道へ接続できれば、当該施設は不要になるものと考えられるが、当面の間、本施設により水質浄化を行い、環境保全を図る。
	A 現状維持	
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	理由 平成21年度の久美浜町の堀川流域に下水道事業が完了し、26世帯が接続完了となった。家庭からの生活排水の流入は少し軽減されたが、引き続き下水への配管接続を推進することが必要である。今後も引き続き接続の普及を推進するとともに、本施設の維持管理について継続的に実施した。
	B 現状維持	
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	08	01	01
細事業名		公害対策事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	橋本琢人

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 騒音、振動、悪臭、水質汚濁、大気汚染等の公害事象に対して、京都府との協力の下対策を講じる。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 各種測定等の継続と公害防止に対する市民の意識高揚。事後処理的な要素が強いが、発生した案件については適切な対策を講じる。また、予防啓発に力を入れることで発生の抑制を図る。
事業の目的	平成26年度事業の効果目標

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民、事業者、観光客等を対象に市民、自治区、京都府等の協力の下公害防止及び苦情案件に対応した。公害苦情件数 33件
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 発生した案件については、適切な対策を講じることができた。公害苦情件数 33件

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	9	20	財源内訳	国庫支出金	
	11	1		府支出金	
	12	16		起債	
	13	140		分担金・負担金	
	14	10		その他	
事業費合計		187	一般財源		187
事業費合計			合計		187

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) 理由 発生した案件については、適切な対策を講じることができた。 <input type="radio"/> 遅れている(できていない)
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった 理由 水質検査、酸性雨測定等以外の経費については、事後処理的な要素の強い経費であるために削減は困難。 <input type="radio"/> 削減の余地があった

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 今後も迅速・適切な対応を図るために必要である。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 今後も予防啓発活動に力を入れることで発生を抑制することが必要である。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	03	01
細事業名		環境保全活動事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	川戸潤子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後地域の豊かな自然環境の保全や美化活動を推進するため、市、環境保護団体および市民が一体となって美しいふるさとづくり活動に向けた取り組みを実施する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 重点区域4箇所⇒6箇所

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 美しいふるさとづくり条例重点区域看板の修繕 環境保護団体による美化活動及び意識啓発活動への支援(補助金交付)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 環境保護団体による琴引浜の夏期パトロール⇒13日間

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	6	68	財源内訳	国庫支出金	
	19	130		府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	198
				合計	198
	事業費合計	198			合計

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 美しいふるさとづくり審議会は2月に審議会委員の任期満了となり重点区域拡充は進んでいない。鳴き砂を守る会による琴引浜での夏期パトロールを13日間実施し、環境保全に努めた。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 美しいふるさとづくり審議会は2月に審議会委員の任期満了となり重点区域拡充は進んでいない。鳴き砂を守る会による琴引浜での夏期パトロールを13日間実施し、環境保全に努めた。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 美しいふるさとづくり審議会は2月に審議会委員の任期満了となり重点区域拡充は進んでいない。鳴き砂を守る会による琴引浜での夏期パトロールを13日間実施し、環境保全に努めた。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 観光客が最も多い海水浴シーズンについては、平日もパトロールを行う必要があり、地元では補助金対象としている土日及びお盆期間の13日間以外にもパトロールや清掃活動を実施しているので削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由 観光客が最も多い海水浴シーズンについては、平日もパトロールを行う必要があり、地元では補助金対象としている土日及びお盆期間の13日間以外にもパトロールや清掃活動を実施しているので削減の余地はない。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由 観光客が最も多い海水浴シーズンについては、平日もパトロールを行う必要があり、地元では補助金対象としている土日及びお盆期間の13日間以外にもパトロールや清掃活動を実施しているので削減の余地はない。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 審議会において重点区域の拡充のための調査・検討</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 審議会において重点区域の拡充のための調査・検討		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 審議会において重点区域の拡充のための調査・検討					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 引き続き環境保護団体主体による、環境保全啓発事業等への支援を行う。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 引き続き環境保護団体主体による、環境保全啓発事業等への支援を行う。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 引き続き環境保護団体主体による、環境保全啓発事業等への支援を行う。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	09	01
細事業名		ブナ林保全関連事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	川戸潤子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的	<p>(どのような目的で事業を実施するか) 学術的な価値も有し、本市の主要河川竹野川の水源域に位置する「内山ブナ林」を保全・継承する。</p> <p>事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 年2回(春・秋)に観察会を実施(各40名)し多くの市民に貴重なブナ林の存在を知ってもらい、環境保全について意識向上を図る。</p>

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民及び府民を対象に、観察会の開催、環境学習の場として活用。 ブナ林観察会講師謝金 ブナ林観察会に必要な消耗品の購入
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 新緑ブナ林観察会5月17日参加申込者54名⇒荒天により中止 紅葉のブナ林観察会11月7日開催 申込者39名 参加者28名

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	8	30	財源内訳	国庫支出金		
	11	7		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		37
	事業費合計	37		合計		37

CHECK	
評価	<p>目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか</p> <p>○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 5月15日 荒天により中止 × 遅れている(できていない) 理由 11月7日 参加者28名</p>
	<p>効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか</p> <p>○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった 理由 例年参加者が多く、講師を減らせないためこれ以上の削減の余地はない。 × 削減の余地があった</p>

ACTION	
改善	<p>事業内容の方向性</p> <p>A 現状維持 B 内容の見直し 理由 気軽に入れるブナ林としても有名な内山ブナ林の観察を通して自然環境保全の大切さを伝えるため、小中学生を対象とした環境学習の場として活用できる方法を考え実施したい C 統廃合・休止・終了</p>
	<p>事業規模の方向性</p> <p>A 事業拡大 B 現状維持 理由 毎年申し込み件数の多い催しであること、また京丹後市の木として認定されたため、多くの市民へ観察会を通して自然環境保全の大切さを再確認してもらおう。子どもたちの環境学習の場としてさらなる拡大を図る。 C 事業縮小</p>

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	09	02
細事業名		スターウォッチング開催事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	川戸潤子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	星空観察を通して、大気・自然環境保全の重要性を啓発する。
平成26年度 事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
星空観察会 参加者50名	

DO	
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市民を対象に星空観察会を実施。 星空観察会講師謝金 観察会に必要な消耗品の購入
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 星空観察会 参加者48名

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	8	6	財源内訳	国庫支出金		
	11	6		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		12
				合計		12

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少しい遅れている(少しできていない) 理由 8/18 当日参加者48名(募集50名、申し込み51名) <input type="radio"/> 遅れている(できていない)
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少しい削減の余地があった 理由 星空観察会講師謝金1名分のみしか支払できていない。参加者も多く、双眼鏡も不足しており、削減の余地はなかった。 <input type="radio"/> 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性
	<input type="radio"/> A 現状維持 <input type="radio"/> B 内容の見直し 理由 毎年参加申し込みの多い人気のある事業につき、継続して全国スターウォッチング事業に参加していく。 <input type="radio"/> C 統廃合・休止・終了
改善	事業規模の方向性
	<input type="radio"/> B 現状維持 理由 引き続き、年1回(夏)星空観察会を実施する。 <input type="radio"/> A 事業拡大 <input type="radio"/> C 事業縮小

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-8

平成21年度予算	会計名称 一般会計	款 04	項 01	目 07	事業 09	細事業 03
細事業名	河川・湖沼等環境体験学習事業					

担当部局 農林水産環境部	担当課長の氏名 後藤正明
担当課等 環境バイオマス推進課	担当者の氏名 川戸潤子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	河川等の観察を通して、水環境を中心とした自然環境保全の意識向上を図る。
平成26年度 事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 河川での環境学習回数2箇所⇒3箇所以上

DO	
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の小学生を対象に河川等で体験活動講師謝金(4名) (7/27 峰山 鱒留川においてわんぱくアウトドアin天女の郷(小学生30名参加) (8/25 弥栄 野間川において自然に触れながら水環境学習会を実施) 体験に必要な消耗品の購入
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 河川での環境学習回数 2箇所

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	24	国庫支出金		
	11	3	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		27
事業費合計		27	合計		27

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 実施箇所 平成20年度 平成21年度 1箇所 ⇒ 2箇所</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 実施箇所 平成20年度 平成21年度 1箇所 ⇒ 2箇所	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 実施箇所 平成20年度 平成21年度 1箇所 ⇒ 2箇所			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 夏休み公民館事業で開催されるサマーキャンプ等のプログラムの中に環境学習の時間を持つことにより低コストで実施できたので、これ以上の削減は難しい。また、複数箇所での実施が可能となりより多くの児童に環境学習を実施することができる。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 夏休み公民館事業で開催されるサマーキャンプ等のプログラムの中に環境学習の時間を持つことにより低コストで実施できたので、これ以上の削減は難しい。また、複数箇所での実施が可能となりより多くの児童に環境学習を実施することができる。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 夏休み公民館事業で開催されるサマーキャンプ等のプログラムの中に環境学習の時間を持つことにより低コストで実施できたので、これ以上の削減は難しい。また、複数箇所での実施が可能となりより多くの児童に環境学習を実施することができる。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 水源から海まで、河川流域全てが市内にあるという全国的に見ても珍しい地形を活用して、引き続き子供たちに自然資源としての主要河川の保全を考える機会を提供する必要がある。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 弥栄、峰山だけでなく、その他の地域でも実施できるよう他の団体と調整して進める。
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	17	01
細事業名		環境基本計画推進事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	戸石善雅

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市
	計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造
	施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 環境基本計画を推進するための組織体制を構築し、市民・事業者・市民団体・旅行者等への普及・啓発を図るとともに、計画の進捗管理を行う。
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 環境基本計画数値目標の達成

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 環境基本計画の議会議決が年度末頃になり、推進委員会の設置ができなかった。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	8	0	財源内訳	国庫支出金		
	9	3		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		3
				合計		3

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 環境基本計画の議会議決が2月だったため</td> </tr> <tr> <td>× ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 環境基本計画の議会議決が2月だったため	× ▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由 環境基本計画の議会議決が2月だったため			
	× ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)					
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか					
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由				
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 環境基本計画の決定を受け、平成25年度の重点プロジェクト目標年度にむけて計画を推進していく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 環境基本計画の決定を受け、平成25年度の重点プロジェクト目標年度にむけて計画を推進していく。		B 内容の見直し		C 統廃合・休止・終了
	A	A 現状維持	理由 環境基本計画の決定を受け、平成25年度の重点プロジェクト目標年度にむけて計画を推進していく。					
		B 内容の見直し						
		C 統廃合・休止・終了						
	事業規模の方向性							
<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 目標年度に向けて計画を推進していく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 目標年度に向けて計画を推進していく。		B 現状維持		C 事業縮小	
B	A 事業拡大	理由 目標年度に向けて計画を推進していく。						
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	07	01
細事業名		エコドライブ普及促進事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	松田吉正

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 2 地球温暖化防止対策の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 環境にやさしい「エコドライブ」の普及促進を図るとともに、地球温暖化防止に向けた啓発を行う。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 講習会受講者数 30人/年 延べ150人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	11	0	財源内訳	国庫支出金		
	13	0		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		0
				合計		0

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">講習会実施委託先との日程等調整がつかず、未実施となった。</td> </tr> <tr> <td>× ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	講習会実施委託先との日程等調整がつかず、未実施となった。	× ▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			講習会実施委託先との日程等調整がつかず、未実施となった。	
	× ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由		▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由					
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	21年度から事業を見直し、講習会を開催することとした。講習会実施委託先との日程調整等ができなかったことから、未実施となったが、22年度からは、着実に講習会方式で実施する。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	できるだけ多くの方に講習会に参加してもらえるよう工夫するとともに、国のエコドライブ推進月間(11月)にあわせ、効果的に実施する。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-11

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	09	03	01
細事業名		竹野川斎場管理運営事業				

担当部局	市民部
担当課等	竹野川衛生センター
担当課長の氏名	藤田竹彦
担当者の氏名	小山 孝

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 4 斎場の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 火葬場施設を常に良好な状態にあるよう管理するとともに、効率的な運営を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 新斎場完成までは、徹底した維持管理を行うことで施設の存続を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 施設の維持管理、霊柩車の運行及び残骨灰の処理を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 施設の適切な維持管理に向け、炉内耐火レンガ修繕を行った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	4	64	国庫支出金		
	7	4,782	府支出金		
	11	3,668	起債		
	12	248	分担金・負担金		
	13	926	その他	火葬場使用料	6,854
	14	103			
事業費合計		9,791	一般財源		2,937
			合計		9,791

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最小限の適切な修繕等を実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	必要最小限の適切な修繕等を実施した。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	必要最小限の適切な修繕等を実施した。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の適切な修繕等を実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の適切な修繕等を実施した。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の適切な修繕等を実施した。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	新斎場完成までは、徹底した維持管理を行うことで施設の存続を図る。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の修繕等を実施する。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-12

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	08	01	01
細事業名		網野火葬場管理運営事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	大江 裕

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 4 斎場の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 火葬場施設を常に良好な状態にあるよう管理するとともに、効率的な運営を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 新斎場完成までは、徹底した維持管理を行うことで施設の存続を図る。
平成26年度事業の効果目標	

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 施設の維持管理、霊柩車の運行及び残骨灰の処理を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) L型ダクト修繕、煙突修繕工事等を行い、施設の適切な維持管理が図れた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	4	30	国庫支出金		
	7	2,454	府支出金		
	11	2,265	起債		
	12	83	分担金・負担金		
	13	1,072	その他	火葬場使用料	2,817
事業費合計		5,904	一般財源		3,087
			合計		5,904

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最小限の適切な修繕等を実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	必要最小限の適切な修繕等を実施した。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	必要最小限の適切な修繕等を実施した。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">設置後50年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の適切な修繕等を実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	設置後50年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の適切な修繕等を実施した。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	設置後50年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の適切な修繕等を実施した。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">新斎場完成までは、徹底した維持管理を行うことで施設の存続を図る。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	新斎場完成までは、徹底した維持管理を行うことで施設の存続を図る。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	新斎場完成までは、徹底した維持管理を行うことで施設の存続を図る。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">設置後50年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の修繕等を実施する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	設置後50年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の修繕等を実施する。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	設置後50年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の修繕等を実施する。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	09	04	01
細事業名		久美浜火葬場管理運営事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	大江 裕

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 4 斎場の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 火葬場施設を常に良好な状態にあるよう管理するとともに、効率的な運営を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 新斎場完成までは、徹底した維持管理を行うことで施設の存続を図る。
平成26年度事業の効果目標	

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 施設の維持管理、霊柩車の運行及び残骨灰の処理を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 炉内耐火レンガ修繕を行い、施設の適切な維持管理が図れた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	33	国庫支出金		
	7	2,053	府支出金		
	11	1,566	起債		
	12	119	分担金・負担金		
	13	1,026	その他	火葬場使用料	1,931
	27	25			
			一般財源		2,891
事業費合計		4,822	合計		4,822

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最小限の適切な修繕等を実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	必要最小限の適切な修繕等を実施した。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	必要最小限の適切な修繕等を実施した。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の適切な修繕等を実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の適切な修繕等を実施した。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の適切な修繕等を実施した。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	新斎場完成までは、徹底した維持管理を行うことで施設の存続を図る。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の修繕等を実施する。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-14

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	09	05	01
細事業名		斎場建設計画推進事業				

担当部局	市民部
担当課等	市民課
担当課長の氏名	野村正彦
担当者の氏名	上田雅彦

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 4 斎場の整備
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	市内に3箇所の火葬場があるが、いずれも老朽化しており、市民の利便性を考慮した火葬場の整備方針を早期に決定し、適した火葬場を設ける必要がある。
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
新火葬場の供用開始	

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	市民代表から構成される火葬場整備検討委員会を設置して、火葬場整備検討委員会4回、小委員会6回を開催した。検討委員会では火葬場整備の方向について検討を行い検討結果を意見書として市長に提出した。意見書内容を尊重しながら、新火葬場1箇所新設などの基本方針を策定した。
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	基本方針の策定により、適地選定等次年度以降への具体的な取り組みにつなげることができる。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
新火葬場の供用開始	8	404	財源内訳	国庫支出金	
	9	50		府支出金	
	12	4		起債	
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源	458	
事業費合計		458	合計		458

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">合併特例債活用を建設の条件とすると、適地選定などできる限り早期に決定するのが望ましい。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	合併特例債活用を建設の条件とすると、適地選定などできる限り早期に決定するのが望ましい。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	合併特例債活用を建設の条件とすると、適地選定などできる限り早期に決定するのが望ましい。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">コスト削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	コスト削減の余地はなかった。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	コスト削減の余地はなかった。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	総合計画の目標達成に現状維持は必要である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	今後、建設に向けて具体的事業の拡大が予想される。
B 現状維持			
C 事業縮小			

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費
事 業 名	03 環境美化保全対策事業		
細 事 業 名	02 不法投棄対策事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
490千円	529千円	39千円	92.6 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

環境への負荷が大きい不法投棄の防止対策のため、不法投棄された廃棄物の回収及び警察、保健所等と協力し撤去指導を行った。

○需用費

消耗品費（啓発看板50基作成等） 227 千円

○役務費

手数料（不法投棄物処分手数料） 193 千円

○委託料

不法投棄廃棄物撤去委託料（久美浜町長野区1回） 62 千円

○使用料及び賃借料

不法投棄廃棄物撤去重機借上料 8 千円

【事務事業評価】

排出者責任の高揚、違法行為である認識、地域の関心（監視）の向上等、年々市民意識の中に定着しつつあり、今後も啓発活動の推進と行為者の摘発及び適切指導といった地道な取り組みが必要である。

【主な特定財源】

事業所管課	市民部／市民課
-------	---------

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費
事 業 名	04 狂犬病予防・動物管理事業		
細 事 業 名	01 狂犬病予防・動物管理事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
542千円	562千円	20千円	96.4 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

狂犬病予防のため、定期的（1回/年）な予防接種を実施した。
人間とペットが共生できる生活環境をつくるため、飼い主に対し、自主的な動物管理マナー等の啓発を行った。

- 旅費
 - 普通旅費（職員出張旅費） 11 千円
- 需用費
 - 消耗品費（鑑札・予防注射済票代等） 80 千円
- 役務費
 - 通信運搬費（予防注射通知案内郵送料） 190 千円
- 委託料
 - 狂犬病予防注射注射済票引渡事務委託料 261 千円

犬の登録件数及び狂犬病予防実施件数

犬の登録件数	2,724 頭
狂犬病予防注射接種件数	1,913 件
内 市実施件数	1,082 件
内 獣医委託件数	831 件

【事務事業評価】

登録頭数は増加傾向にあり、犬の登録・狂犬病予防注射の実施率の向上と正しい飼養方法の普及や飼い主の自主的な動物管理マナーの向上を今後も図ることが必要である。

【主な特定財源】

府補 動物管理指導費補助金 163千円

事業所管課	市民部／市民課
-------	---------

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費
事 業 名	05 堀川浄化施設維持管理事業		
細 事 業 名	01 堀川浄化施設維持管理事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
1,689千円	1,812千円	123千円	93.2 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

久美浜町の生活排水処理施設「堀川浄化施設」の維持管理を行った。
「堀川浄化槽」200人槽 長期ばっ気式 処理能力：40m³/日 用途：雑排水下水路

(久美浜町西本町区に位置する堀川河口部から上流部約180mの範囲、約60世帯程度の家庭雑排水を、取込管により、河川に布設する本管へ導入し、浄化処理を行った後、久美浜湾へ放流)

○需用費

光熱水費（浄化槽及び街路灯等の電気・水道料金） 415 千円

○委託料

堀川浄化槽保守管理委託料 1,274 千円
（施設保守点検、消毒剤補充、水路清掃、水質検査、汚泥処分等実施）

【事務事業評価】

施設の適正な維持管理及び水路の清掃等により水質浄化を図った。関係世帯が下水道施設への100%接続までは継続的に実施していく必要がある。

【主な特定財源】

事業所管課	市民部／市民課
-------	---------

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	08公害対策費	
事 業 名	01 公害対策事業			決算書
細 事 業 名	01 公害対策事業			P.192
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
187千円	205千円	18千円	91.2 %	

【主要な事務・事業及び成果の概要】

不法投棄や野焼き・騒音・振動・悪臭などのほか、水質汚濁、大気汚染等様々な公害事象に対して京都府と市が連携して、早期対応し公害対策を実施した。

※公害苦情件数33件

○旅費

普通旅費（職員出張旅費）

20 千円

○需用費

消耗品費

1 千円

○役務費

手数料（普通騒音計検定手数料）

16 千円

○委託料

草刈委託料

49 千円

水質検査委託料

91 千円

○使用料及び賃借料

酸性雨測定地土地借上料

10 千円

【事務事業評価】

予防啓発活動に力を入れることで、様々な公害事象の発生抑制を図る必要がある。

【主な特定財源】

事業所管課	市民部／市民課
-------	---------

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	
事 業 名	03 環境美化保全対策事業			決算書
細 事 業 名	01 環境保全活動事業			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
198千円	204千円	6千円	97.0%	

【主要な事務・事業及び成果の概要】

環境保全団体の積極的な活動に対し支援を行った。

- 消耗品費（修繕費） 68千円
 美しいふるさとづくり条例重点区域（五色浜）看板修繕費
- 補助金 130千円
 ・美しいふるさとづくり条例環境保護団体活動補助金
 京丹後市美しいふるさとづくり条例に基づき、特別保護区域である琴引浜において、環境保護団体が実施するパトロール（海水浴シーズンの主に休日に、2人1組で13日実施）等に対し支援を行った。

【事務事業評価】

環境保護団体（鳴き砂を守る会）による琴引浜の夏季パトロールや清掃活動は、琴引浜の鳴き砂を守ることとあわせて、観光客への自然環境保全の啓発活動として大きな役割を果たしており、今後も引き続き支援を行う必要がある。

【主な特定財源】

事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課
-------	--------------------

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費
事 業 名	09 環境保全意識啓発事業		
細 事 業 名	01 ブナ林保全関連事業		
			決算書 P.190
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
37千円	60千円	23千円	61.6%

【主要な事務・事業及び成果の概要】

学術的に貴重な地域であると注目されている内山ブナ林の観察会を開催し、ブナ林・自然環境保全の重要性を考える契機とした。

○ 新緑のブナ林観察会

開催日：平成21年5月17日（日） 申込者 55人（悪天候により中止）

○ 秋の内山ブナ林観察会

開催日：平成21年11月7日（土）

場 所：大宮町五十河内山ブナ林 参加者：28人 講師：4人

・ 報償費（報償金）

30千円

・ 需用費（消耗品費）

7千円

【事務事業評価】

毎年参加申し込みの多い事業であり、市民の関心も高い。京丹後市の木として認定された「ブナ」を観察会を通して、多くの市民、府民の方に知っていただくとともに、自然環境保全の大切さを再認識するため、環境学習の場として更なる活用の拡充を図る必要がある。

【主な特定財源】

事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課
-------	--------------------

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費
事 業 名	09 環境保全意識啓発事業		
細 事 業 名	02 スタ-ウォッチング 開催事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
12千円	16千円	4千円	75.0 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

星空観察会を開催し、大気・自然環境保全の重要性を考える契機とした。

- 開催日：平成21年8月18日（火）
- 場 所：丹後あじわいの郷 参加者：50人 講師1人

- ・ 報償費（講師謝礼） 6千円
- ・ 需用費（消耗品費・印刷製本費） 6千円

【事務事業評価】

毎年参加申し込みの多い事業であり、平成21年度においても募集人数を上回る申し込みがあり、市民の関心が高い事業である。今後も環境省の実施する「全国星空観望ネットワーク」へ参加するとともに、楽しみながら大気環境保全について考える機会とするためにも必要である。

【主な特定財源】

事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課
-------	--------------------

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費
事 業 名	09 環境保全意識啓発事業		
細 事 業 名	03 河川・湖沼等環境体験学習事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
27千円	84千円	57千円	32.1 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

社会教育の子ども体験活動と連携し、市内主要河川「鱒留川」と「宇川」の水質や水生生物の変化を調査し、川の環境を把握するとともに自然環境保全の重要性を考える契機とした。

○ リバーウォッチング

- ・ 開催日：平成21年7月28日（火）
- ・ 場 所：鱒留川
- ・ 参加者：峰山・大宮町の小学4～6年生 30人 講師1人

○ やさか探検隊

- ・ 開催日：平成21年8月25日（火）
- ・ 場 所：宇川
- ・ 参加者：弥栄町の小学5～6年生 31人 講師3人

- ・ 報償費（講師謝礼） 24千円
- ・ 需用費（消耗品費） 3千円

【事務事業評価】

これまで大学から講師を招いて1か所で実施してきたが、今年度は地元有識者に講師を依頼して実施したことにより経費の削減が図られた。

水源から海まで、河川流域全てが市内にあるという全国的にも珍しい地形を活用して、子供たちに自然資源としての河川の保全を考える機会を提供するためにも必要な事業である。

【主な特定財源】

事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課
-------	--------------------

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	
事 業 名	17 環境基本計画推進事業			決算書
細 事 業 名	01 環境基本計画推進事業			P.192
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
3千円	4千円	1千円	75.0 %	

【主要な事務・事業及び成果の概要】

環境基本計画を推進するための組織体制を構築し、市民・事業者・市民団体・旅行者等への普及・啓発を図ることを目的としている。

- ・環境基本計画策定委員会委員長打ち合わせ旅費 3千円
5月13日(水)、環境基本計画議会審議状況報告ほか

【事務事業評価】

環境基本計画の決定を受け、平成25年度の重点プロジェクト目標年度にむけて計画を推進していく。

【主な特定財源】

事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課
-------	--------------------

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費
事業名	03 竹野川斎場管理運営事業		
細事業名	01 竹野川斎場管理運営事業		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
9,791千円	10,814千円	1,023千円	90.5%

【主要な事務・事業及び成果の概要】

- 火葬による焼骨と、収骨後の残骨灰の適切な処理を行った。
- 施設が老朽化しているため、日頃から点検保守及び修繕を行った。

年度	火葬場使用料（千円）	対前年度	使用件数（件）	対前年度
H21	6,854	101.54%	505	102.43%
H20	6,750	97.84%	493	110.54%
H19	6,899	98.21%	446	96.12%

臨時職員賃金	4,782 千円
共済費（労災保険料）	64 千円
需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料）	3,668 千円
役務費（通信運搬費、手数料、保険料）	248 千円
委託料（残骨灰処理委託、霊柩車運行業務委託）	926 千円
使用料及び賃借料（清掃用具、コピー機）	103 千円

【事務事業評価】

施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の修繕等を実施し、新火葬場完成までは、徹底した維持管理を行うことで施設の存続を図る。

【主な特定財源】

使用料 火葬場使用料 6,854千円

事業所管課	市民部／竹野川衛生センター
-------	---------------

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費
事 業 名	02 網野火葬場管理運営事業		
細 事 業 名	01 網野火葬場管理運営事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
5,904千円	6,510千円	606千円	90.6 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

火葬による焼骨と収骨後の残骨灰の適切な処理を行った。
また、日頃から施設の保守点検を行い、老朽化に伴う修繕を行った。

○共済費

労災保険料 30 千円

○賃金

臨時職員賃金1人 2,454 千円

○需用費

消耗品費（ステンレスゴトク（火葬炉内棺乗せ台）等） 171 千円

燃料費 648 千円

光熱水費 79 千円

修繕料（火葬場L型ダクト修繕など） 1,367 千円

○役務費

通信運搬費（電話代） 33 千円

保険料（共済保険料） 50 千円

○委託料

残骨灰処理委託料 85 千円

霊柩車運行業務委託料 987 千円

年度	火葬場使用料（千円）	対前年度	使用件数（件）	対前年度
H21	2,817	95.1%	191	95.5%
H20	2,963	105.0%	200	104.7%
H19	2,823	93.1%	191	97.9%

【事務事業評価】

施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の修繕等を実施し、新火葬場の稼働までは、維持管理を行い施設の存続を図る。

【主な特定財源】

使用料 火葬場使用料 2,817千円

事業所管課	市民部／市民課
-------	---------

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費
事 業 名	04 久美浜火葬場管理運営事業		
細 事 業 名	01 久美浜火葬場管理運営事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
4,822千円	5,072千円	250千円	95.0 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

火葬による焼骨と収骨後の残骨灰の適切な処理を行った。
また、日頃から施設の保守点検を行い、老朽化に伴う修繕を行った。

○共済費

労災保険料 33 千円

○賃金

臨時職員賃金1人 2,053 千円

○需用費

消耗品費（ステンレスゴトク（火葬炉内棺乗せ台）等） 195 千円

燃料費 692 千円

光熱水費 306 千円

修繕料（耐火レンガ補修など） 373 千円

○役務費

通信運搬費（電話代） 33 千円

手数料（霊柩車車検、職員検診手数料等） 34 千円

保険料（霊柩車自賠責、共済保険料） 52 千円

○委託料

残骨灰処理委託料 78 千円

霊柩車運行業務委託料 948 千円

○公課費

自動車重量税（霊柩車） 25 千円

年度	火葬場使用料（千円）	対前年度	使用件数（件）	対前年度
H21	1,931	85.98%	131	86.18%
H20	2,246	98.04%	152	100.66%
H19	2,291	97.32%	151	0.00%

【事務事業評価】

施設の老朽化が進んでいるが、必要最小限の修繕等を実施し、新火葬場の稼働までは、維持管理を行い施設の存続を図る。

【主な特定財源】

使用料 火葬場使用料 1,931千円

事業所管課	市民部／市民課
-------	---------

予 算 科 目	04衛生費	01保健衛生費	09斎場費
事 業 名	05 火葬場建設計画推進事業		
細 事 業 名	01 火葬場建設計画推進事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
458千円	3,680千円	3,222千円	12.4 %

【主要な事務・事業及び成果の概要】

市内3か所にある火葬場は、いずれも老朽化が進んでおり、新たな火葬場の建設を推進するため、市長から委嘱された一般市民で構成される火葬場整備検討委員会の設置・開催、基本方針の作成などの取り組みを行った。

○火葬場整備検討委員会〔19人〕（全体委員会4回、小委員会6回開催）

報償費	404 千円
旅費（費用弁償）	50 千円

○その他

通信運搬費	4 千円
-------	------

参考	繰越明許費を除いた最終予算額	480千円
	実質的な予算執行率	95.4%

■平成22年度への繰越事業 3,200千円

・火葬場建設基本計画策定事業 完了予定 平成23年3月

【事務事業評価】

市内に1か所の火葬場新設を基本方針とすることを確認した。
早急に適地の選定を行い、用地整備、設計、建設と平成25年度中の供用開始に向けて事業を進めていく必要がある。

【主な特定財源】

事業所管課	市民部／市民課
-------	---------

平成22年度 京丹後市行政評価委員会 施策評価結果（案）

施策名	自然環境の保全と創造		担当部局 農林水産環境部
評価結果	<p>1 施策目的について</p> <p>(1) 施策目的については、「自然環境保全意識の啓発」「地球温暖化防止」「斎場の整備」の3つに区分されているが、「斎場の整備」は、当施策の名称から考えると異質である。</p> <p>(2) めざす目標に「京丹後市クリーン作戦の実施」があるが、目標として適しているか疑問である。また、クリーン作戦の実施回数が0回であり、一定の整理が必要である。</p> <p>2 施策の達成度について</p> <p>3 事業構成の有効性について</p> <p>(1) 「自然環境の保全と創造」という施策であるが、「創造」ということに見合った施策方針や事業がないと思われる。</p> <p>(2) 「豊かな自然環境の継承」という施策方針について、自然環境をどのような図式で継承するのか見えにくい。50人くらいの参加で実施されている事業が個々にあるというのが現状であり、これらのことで自然環境の保全・継承を図ることができるのか疑問である。</p> <p>(3) 「地球温暖化防止対策の推進」という施策方針について、事業としては、「エコドライブ普及促進事業」のみであり、地球温暖化防止対策は世界的、全産業的な課題であることから、個人レベルの取り組みのみで効果を求めることに疑問がある。</p> <p>4 事業の優先度について</p> <p>優先度が低い事業として「不法投棄対策事業」を上げているが、不法投棄により川の水が汚れ、その水が田んぼに流入しているという状況がある。不法投棄防止に向けた効果的な事業展開を期待したい。</p> <p>5 今後の施策展開について</p> <p>(1) 自然環境の継承について</p> <p>① 「自然環境の保全と創造」という施策であるが、「創造」ということに見合った施策方針や事業がないと思われるため、今後の方向性について、検討・整理が必要である。</p> <p>② 「豊かな自然環境の継承」という施策方針について、自然環境をどのような図式で継承するのか見えにくいいため、他の施策との役割分担や民間の動きとの役割分担を踏まえ、この施策方針の進め方を明確にすべきである。</p> <p>③ 豊かな自然環境を継承していくためには、子どもに対する事業も重要であるが、子どもは大人の姿を見て成長するため、特に大人のマナーに対する効果的な事業展開が必要である。また、教育分野のとの連携・調整により、効率的・効果的な事業展開を一層図る必要がある。</p> <p>④ 市の木でもあるブナが生息するブナ林は、全国的にも貴重な自然林であることから、もっとPRすべきである。併せて、学識者の意見を踏まえて慎重に保全していくべきである。</p>		

(2) 地球温暖化防止対策について

地球温暖化防止に向け、「エコドライブ普及促進事業」が、あえて市が実施すべき有効な方策なのか再検証すべきである。

(3) 斎場について

斎場に関する事業は、当施策の名称から考えると異質であるため、別の施策として整理すべきである。